

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和8年 2月27日

事業所名: 多機能型事業所 わくわくクラブ
放課後等デイサービス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1	6	2		・2つの部屋、フロアを活用している。	11	1				・引き続き、特性や活動内容により2つの部屋とフロアを活用し、スペースを十分に確保できるように努める。
	2	4	4			11			1		・2つの部屋とフロアに、必要な職員を配置できるよう勤務体制を整え、適切にスペースを活用できるよう努める。
	3	7	1			11			1		
	4	7		1		11			1		
業務改善	1	6	2			/	/	/	/	/	・勤務時間が違う為、全員での同時参加は難しいが、時間が違ってても全員が参加できるようにしていく。
	2		1	7	・現在は、実施できていない。	/	/	/	/	/	・今後、実施を検討する。
	3	5	3			/	/	/	/	/	・今後も必要な研修は、積極的に受講していく。
適切な ま	1	8				10			2		・保護者様へも周知されるよう努める。
	2	8				12					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	2							
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	7	1							
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	8								
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	2	1						・必要な研修には、積極的に参加していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	3	4		4	1	7		・児童館の利用や交流する機会を検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	6	1	1	・防災訓練を地域の方と行っている。 ・コロナ禍以降、減っているが、今後検討していく。					・感染症の影響も考慮して、検討する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8				11			1		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	1			11			1		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	4	1	・モニタリングや支援会議等で、事業所での支援内容を説明している。	6	1	2	3	・情報提供はよくしていただいております。	・モニタリングや支援会議等で、ご家庭での対応方法について、話し合いながら伝えていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8				12					
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8				9	1	1	1		
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	1	6	・開催できていない。	3		5	4	・必要を感じない。	・来年度に開催を検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8				11			1		
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8				12					

